

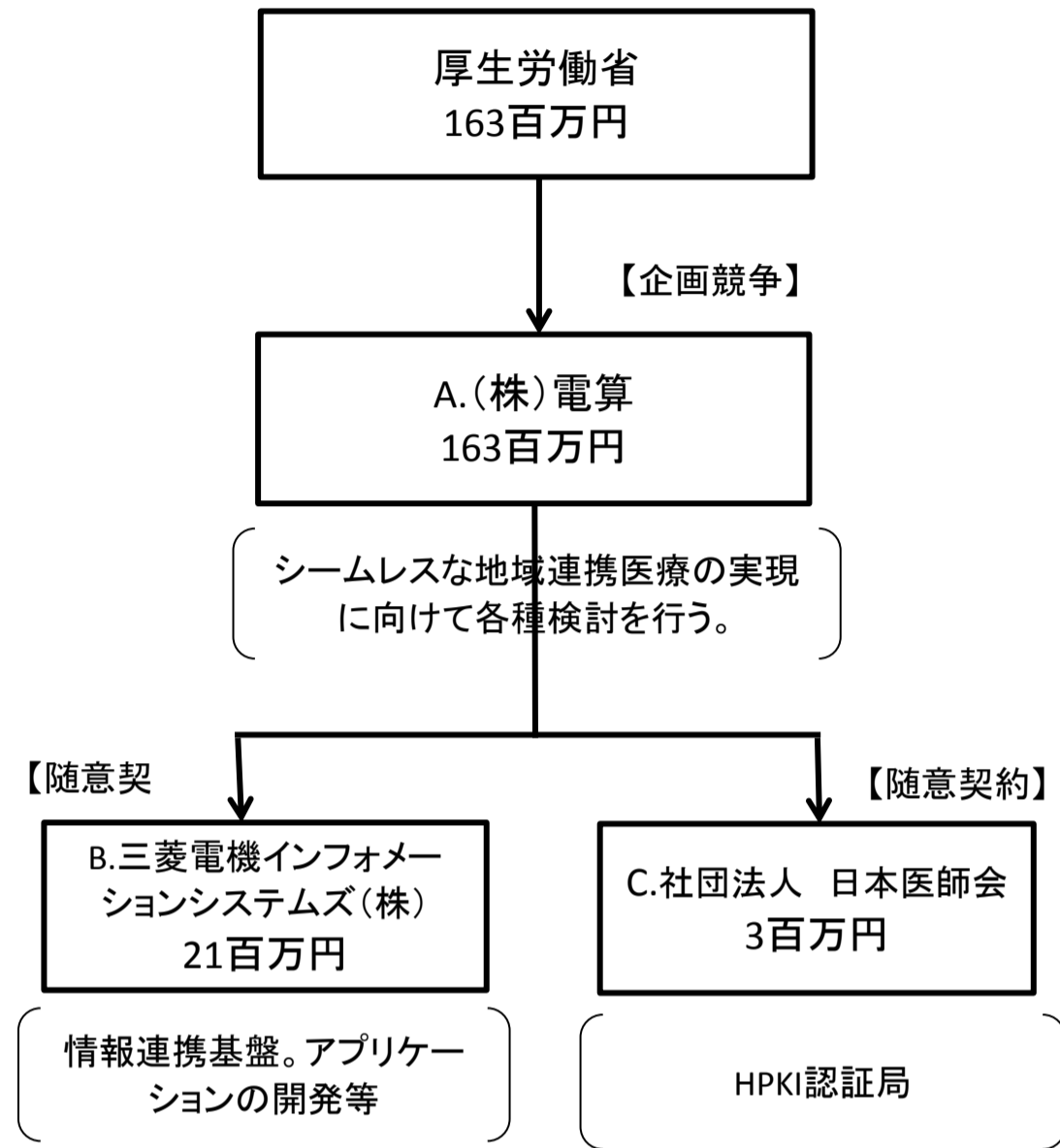
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	シームレスな健康情報活用基盤実証事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～		担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長：石井安彦		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-7 医療を始めとする社会保障分野の情報化を推進するとともに、社会保障・税に関わる番号制度の実現に向けた検討に参画する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略～三カ年緊急プラン～ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	電子化される健康情報の高度利活用を図るため、医療・健診等におけるデータの相互利用をはじめとする情報共有のための方策や、個人の健康情報を有効に活用するための方策等の実証に取り組む。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域医療支援病院などを中心として病院から診療所、調剤薬局まで様々な施設間でのシームレスなデータ共有を行い、患者情報を共有しながら病態に応じた各施設の役割を分担し、地域連携体制を構築する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	/	/	173	150	121	
		補正予算	/	/	/	/	/	
		繰越し等	/	/	/	/	/	
		計	/	/	173	150	121	
	執行額	/	/	163	/	/		
	執行率(%)	/	/	94.2%	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	医療データ等の相互利用をはじめとする情報共有のための方策等の実証に取り組むものであり、定量的な指標は困難。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		/	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業実績報告書の作成		活動実績(当初見込み)		-	-	1	-
					(-)	(-)	(1)	(-)
単位当たりコスト	163百万円/事業実績報告書		算出根拠	平成23年度のシームレスな健康情報活用基盤実証事業の執行額:163百万円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	実証事業費	150	121	委託内容の変更に伴う予算減				
	計	150	121					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣官房IT戦略本部が決定した「新たな情報通信技術戦略」等で実施が掲げられている事業であり、ニーズや優先度が高い事業である。 ・標準的な情報提供形態等を検討するための実証事業であり、「新たな情報通信技術戦略」等においても国の実施が掲げられている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・企画競争入札を行い競争性の確保を図っている。 ・企画書審査委員会等において、コストについても削減に努めた。 ・負担のあり方については見直しを行っており妥当である。 ・事業の実施に必要な支出を行うにあたり実情を勘案し支出を行っているものとする。 ・必要最低限の費用のみ予算要求している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・成果実績や活動実績から見て他の手段と比較しても実効性が高い手段である。 ・契約時期が遅れたことから、目標の達成度も若干、遅れている。 ・概ね当初見込みどおりの活動実績となっている。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>契約時期が遅れたことによる成果目標の達成度の遅延については、平成24年度内で調整し、最終的な成果目標は達成できる見込みとなった。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>シームレスな健康情報活用基盤実証事業については、様々な施設間でシームレスなデータ共有を行い、患者情報を共有しながら病態に応じた各施設の役割を分担することを目的とする事業であり、事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>予算監視・効率化チームの所見は「現状通り」であるが、予算の効率的な執行を図るよう努め、実証事業費については、平成25年度概算要求において縮減を図った。(▲29百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-0007

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)電算			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員賃金	61			
備品費	システム用ハードウェア等購入	60			
委託費	情報連携基盤・アプリケーション開発、HPKI認証局	24			
消費税	消費税	8			
借料及び損料	賃借料など	4			
旅費	委員等旅費など	2			
その他	消耗品費、諸謝金など	4			
計		163	計		0
B.三菱電機インフォメーションシステムズ(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	情報連携基盤・アプリケーション開発作業費用	21			
計		21	計		0
C.社団法人日本医師会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	HPKI認証局	3			
計		3	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電算	シームレスな地域連携医療に向けた実証事業など	163	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機インフォメーションシステムズ(株)	情報連携基盤アプリケーションの開発	21	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社団法人日本医師会	HPKI認証局	3	随意契約	